

高森町議会だより

PARLIAMENTARY INFORMATION

絆

令和2年8月発行
No.78
6月定例会



挑戦
～1つ上の自分を目標として
日々考え行動しよう～

6月定例会	1
町政を問う(一般質問)	7
常任委員会報告	8
議会全員協議会	10
町民の声	11

地方再生特別委員会 設置を決議

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による各産業への経済的な支援など、町民の安心安全な生活を確保する様々な取り組みを進めるため、地方再生特別委員会を設置することに決定した。



委員長 本田 生一
副委員長 立山 広滋

委員 津留 智幸
〃 牛嶋津世志
〃 田上 更生

人事案件

人権擁護委員の推薦について

令和2年9月30日で任期満了を迎える人権擁護委員として、高森地区から佐藤謙二氏、草部地区から後藤政藤氏を推薦することに決定した。

令和2年度 高森町一般会計補正予算 (第1号)

7億5,123万8千円を追加 予算総額 58億5,323万8千円

主要事業

特別定額給付金事業

6億4,250万円

新型コロナウイルス感染症に係る緊急経済対策として1人あたり10万円を給付する。

【給付対象】

令和2年4月27日時点で高森町に住民登録のある世帯

【申請方法】

郵送申請、オンライン申請、役場又は各出張所への持参による申請

○早期給付のために4月28日～30日の3日間、ドライブスルー方式による申請書受付を実施。

【給付率】

(対象世帯2,876世帯 申請受理件数2,869世帯 給付済世帯数2,866世帯)

給付率 99.7%

(7月7日現在)



令和2年度 高森町一般会計補正予算 (第2号)

361万7千円を減額

予算総額 58億4,962万1千円

主要事業

休業事業所補助事業

△5,000万円 実績に伴う減額

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、町が特定した業種（飲食業・宿泊業等）で指定した期間に自主的に休業した事業所に対し、協力金（10,000円/日）を支払う。

【実績】

- 申請件数……125件
- 補助額……1,281万円

指定避難所等の強化

2,342万円

新型コロナウイルス感染症の対策として、指定避難所及び各公民館の避難所としての機能を強化する。

【事業内容】

- マスク、消毒液等購入
- 密を避けるためのプライベートテント購入
- 高齢者や体調不良者用段ボールベッドの購入



避難所プライベートテント

TPCサブチャンネル追加業務

480万円

新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休校時の学びの機会を確保する重要性から、TPCのサブチャンネルを増設し、自宅学習専門放送による学習支援を実施する。

令和2年度 高森町一般会計補正予算 (第3号)

1億2,493万円を追加 予算総額 59億7,455万1千円

主要事業

地方創生推進交付金事業

1,990万円

2023年の南阿蘇鉄道全線復旧に向け、マウンテンバイクのコース造成やレンタサイクルの設置、イベント等を実施し、高森町及び鉄道沿線地域のにぎわいづくりを目指す。

- 事業費…… 1,990万円
- 補助額…… 995万円
- 交付税措置…… 399万円
- 町負担額…… 596万円



高森町降灰除去事業

4,000万円

道路に堆積した火山灰を清掃するため、路面清掃車を購入する。

- 事業費…… 4,000万円
- 補助額…… 2,280万円
- 特別交付税…… 1,376万円
- 町負担額…… 344万円



購入予定清掃車

新時代の学びにおける先端技術導入実証研究事業 692万円

1対1でのオンライン英会話等の遠隔事業により、児童生徒の技術向上や家庭での学習支援を実施する。

対象：高森中央小3・4・6年、高森中1・2年、高森東学園6・8年

- 事業費…… 692万円
- 補助額…… 450万円
- 町負担額…… 242万円

令和2年6月定例会 主な質疑応答

承認第6号

高森町国民健康保険税条例の一部改正

質

〔佐伯金也議員〕

国民健康保険税の最高額は現状からいくら上がるか。今回の定額給付金、持続化給付金は所得として算定するのか。

答

〔税務課長〕

国民健康保険税の最高限度額は、現在の96万円が99万円に上がる。定額給付金は非課税、持続化給付金は課税と聞いている。

承認第0号

令和2年度高森町一般会計補正予算(第1号)

質

〔牛嶋津世志議員〕

高森町は遠隔授業を実施しているが、対面授業などで音響のずれなどの改善点があると思う。現在の

システムで対応が出来るのか、新しいシステム導入のため追加予算の必要があるのか伺う。

答

〔教育委員会審議員〕

ズームというテレビ会議システムを使って、20人位の生徒に授業を行うとき一斉に発言すると聴き取りづらい、評価しづらいという課題が見えてきた。現状の施設設備では対応が難しいが、今後着手する予定のギガスクール構想により、一斉に発言する声が聴き取れるようになれば改善していくだろうと考えている。

議案第44号

令和2年度高森町一般会計補正予算(第3号)

質

〔津留智幸議員〕

予算書の土木費「道路維持費」で、高森町管内道路網再編計画委託料650万円の減となっているが、

道路網再編計画の延期と理解してよいか。

答

〔建設課長〕

3月定例会議会において令和2年度一般会計予算で650万円の予算計上を頂いたが、今回提出した候補路線の交通量調査は、繁忙期と閑散期との交通量格差等、正確な情報の把握が困難と考えられる。今後は駐在員へのヒアリング等を行い、正確な情報のもと、再編計画を本年度中に作成する。

質

〔後藤蔵議員〕

地方創生推進交付金事業について、「サイクルツーリズム」の創出この事業の目的として、高森町及び南阿蘇鉄道沿線地域の賑わいづくりを目指すところがあるが、南阿蘇鉄道沿線地域は高森町及び南阿蘇村を含んでいるのか。

答

〔政策推進課長〕

南阿蘇村は沿線地域では入っている。構成メンバーは、高森町・高森町観光協会・株式会社南阿蘇鉄道・肥後銀行・熊本DMCとなっている。

質

〔後藤蔵議員〕

南阿蘇鉄道の南阿蘇村内にある駅は、行政管理だと思うが、駅の使用手法など南阿蘇村と構成団体との協議はされるのか。

答

〔町長〕

県主導の事業で、民間・県・熊本DMC・肥後銀行・各自治体個別でこのサイクルツーリズムを計画している。最終的には阿蘇全体での事業に持っていきたい。





空き家解体

空き家が解体されている理由は

町長 個人の人脈で提案

協会がボランティア活動をやるというところで、社会貢献事業として、所有者の負担がゼロ、自治体の負担もなし、協会としては社会貢献事業がで

うと、私個人の人脈で解体業協会に提案した。どのような対応かと言うと、個人の人脈で解体撤去を実施している。

町長 近年では、空き家等対策の推進に関する、特別措置法等も出

質問 高森市街地で、空き家の解体が多数見受けられる。全国的に危険な空き家対策等は問題となっているが、高森町はどのような対策を持って、解体が行われているのか。



空き家の解体状況（横町通り）

きる。高森町は、熊本県の解体工事業協会協定に基づき実施細目より、もっと細かい実施細目を結んだ。高森町の場合は協定の細かいところを結んでいるので、熊本県を通さずそのままダイレクトで、熊本県解体工事業協会に申請が出来る。所有者負担は解体部分がゼロ、町負担も基本的にはゼロ、協会にとっては志・思いを形に出来る三方良し、この事業は二度とないと思う。

牛嶋津世志議員

2人の熱弁

後藤巖議員



遠隔授業(オンライン授業)

今後の展開は

教育長 デジタル化、システム化を教育の中心に位置づける

不登校の子どもたちが、遠隔授業を受けた場合は出席扱いにする特例も認めている。町では入院し

これからは臨時休校等における家庭学習支援のシステム化、授業の質の向上を目指す。その為に夏休み期間も引き続き遠隔授業を行う。さらに個

今回のコロナ禍での遠隔授業の取り組みは、草村町長からの情報通信基盤事業に基づく8年間の成果が表れてきたと認識しており、教育委員会としてもありがたく感じている。

教育長 ICTは教育の目的ではなく、目標でもなくあくまでツール、手段。

質問 これからの遠隔授業の進め方。



臨時休校中の遠隔授業

た児童に対して授業事例がある。そして、タブレット持ち帰りのシステム化。このシステムが教育の土台となり休校時の遠隔学習基盤・タブレット図書館に繋がる。これからはデジタル化、システム化を進め、高森の教育の中心として位置づけられる様に準備していきたいと思う。

常任委員会報告

総務文教

委員会に付託された「繰越明許費に係る繰越計算書の報告」、「高森町駐在嘱託員設置条例及び高森町駐在嘱託員の報酬及び費用弁償等条例を廃止する条例」、「高森町一般職員の給与に関する条例の一部改正」、「令和2年度高森町一般会計補正予算」については、担当者から詳細に説明を受け、審議した結果可とすることに決定した。

【主な質問事項】

◎令和2年度高森町一般会計補正予算関係

正予算関係

質 地方創生に向けた「がんばる地域の応援事業」の検討会の立ち上げは何時になるのか、また検討会の運営経費及び今後のスケジュールについて伺う。

答 9月に設立を予定しているが、エンタメ業界と連携した町づくり事業を展開するにあたっては、いかに町民との情報共有を進めて行くかが課題である。運営や事業資金については企業版ふるさと応援納税を財源とし、スケジュールとしては調査分析結果を12

月の議会に中間報告、来年3月に公表予定である。

質 新型コロナウイルスの影響でくまもと国際マンガキャンプが開催出来なかった場合、予算に変更が生じるのか。

答 当初から感染予防に配慮した計画としている。外国人の来訪ができない場合も想定し、全世界のクリエイターをオンラインで繋ぎ、町の情報通信網の優位性をPRする機会としたい。現段階では開催する方向で進めている。

質 新型コロナウイルスの影響で各種イベントが中止されているが、今後の集客対策や、賑わいづくりの対応について伺う。

答 不特定多数が集まるイベントの実施は難しく、恒常的に観光客が来町出来るような各種キャンペーン等実施してきたい。

質 ハンディ型のサーマルカメラ（体温測定カメラ）5台購入の予算が計上されているが、設置場所について伺う。

答 指定避難場所に設置する。



昨年度
第2回くまもと国際マンガキャンプ



サーマルカメラ

サーマルカメラとは、発熱しているかどうかを広範囲・非接触・リアルタイムに検知する機能のあるカメラです。

常任委員会報告

産業厚生

委員会に付託された「繰越明許費に係る繰越計算書の報告」「高森町寝たきり老人等介護者手当支給に関する条例の全部改正」「令和2年度高森町一般会計補正予算」「令和2年度高森町国民健康保険特別会計補正予算」「令和2年度高森町後期高齢者医療特別会計補正予算」「令和2年度高森町介護保険特別会計補正予算」「令和2年度高森町簡易水道事業特別会計補正予算」「令和2年度高森町農業用水供給事業特別会計補正予算」「高森町介護保険条例の一部改正」について、担当者から詳細な説明を受け、審議した結果、可とすることに決定した。

【主な質問事項】

◎住民福祉課

質 マイナビポイント事業について現在の状況と今後の告知や進め方をどうするのか。

答 6月14日現在で高森町人口6,458名に対して749名交付。最大5,000円分のポイント支給も告知してマイナンバー登録者数を増やす。7月受付開始でポ

イント支給は9月から3月末までとなる事業。

質 色見保育園の民営化への進捗状況は。

答 コロナ禍の影響で進んでいない。前任からの引継ぎは終わっておりアンケートの実施や保護者側からの意見などまだ課内の集計が出来ていないので令和5年度を目標に再度検討していく。

◎農林政策課

質 農村漁村地域整備交付金が繰越明許費であがっているが内容は。

答 令和元年度分で降灰対策事業でビニールハウスの張り替え事業です。3月の通知決定で間に合わなかった分が繰越となっている。本年度中には完了する。

質 新聞に掲載された強い農業・担い手づくり総合支援交付金について。

答 産地の収益強化、経営発展のための農業用機械や施設の導入の補助事業。事業費が8,000万、その1/2の4,000万が補助となり、この施設を使い年中三

トマトの収穫を目指すとの事。

質 有害鳥獣駆除助成金の内容はどうなっているのか。

答 昨年度実績は猪578頭、鹿1,200頭、猿16頭。捕獲補助金として猪10,000円、幼獣4,000円、鹿17,000円、猿30,000円である。

◎建設課

質 高森町管内道路網再編計画の現状と委託料減額について。

答 減額については交通量調査を委託予定であったが町内交通量が安定しないので委託を取りやめ嘱託駐在員への聞き取りにて対応する事で減額。見直し路線の候補は出ており、交通量調査を終えて、あり方検討委員会にて審議を諮り答申をもって本年度中に終わらせる。

質 西原・日ノ尾峠線開通式について。

答 平成24年7月九州北部豪雨災害の最後の事業完成として行う。前回議会に計上した予算に増額した理由は国や県に対し高森町にこの事業を実施してくれたお礼と今までの上色見地区において取り組んだ事業一覧を作るた

めである。

◎健康推進課

質 住民健診が始まったが現在の状況は。また昨年と比べてどうか。

答 前年度実績は52.4%。今年度は6月13日より上色見地区からスタートし、河原・津留地区・草部地区の一部が終了した。前年とほぼ変わらない受診率であり、TPCで広報を行っているが更に広報車を使った呼びかけもする。

人工透析や心臓疾患が重症化する前に早めに、自分の健康状態を知るの重要な予防でありこれを呼び掛けていく。

The image contains three promotional posters for the MyNanba initiative. The top poster is for the 'MyNanba Card' (マイナンバカード), highlighting a 25% discount on mobile phone bills. The middle poster is for the 'MyNanba ID' (マイナンバID), showing how to apply for it and its benefits. The bottom poster is for 'MyNanba Points' (マイナンバポイント), detailing how to earn points through various services and how to use them for discounts.

議会全員協議会

- ①4月10日、タブレット図書館設置事業について教育委員会より説明を受けた。児童・生徒向けの電子書籍の提供や町民向けの電子ライブラリーの提供を行っていく予定としている。



- ②4月22日、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に伴う専決予算について、各担当課より説明を受けた。専決の主な内容は特別定額給付金事業や阿蘇産マスクの配布、新型コロナウイルスで影響を受ける事業者への休業補償、感染防止対策のための消耗品購入等となっている。議員側からは各事業の財源措置や特別定額給付金の事務について質問がされた。また、専決予算についてはスピード感を持って取り組んでほしい等意見も出された。



- ③6月23日、議場にて今年度採用職員の自己紹介を行った後、令和2年度エンターテインメント業界と連携した町づくりと地域の新産業創出のプロジェクトについて、政策推進課より説明を受けた。

- 漫画家を育成するためのマンガアカデミーの設立（旧高森温泉館を改修）
- 出演者が女性だけの熊本歌劇団「096 K（オクロック）」の立ち上げ



町民の声



中島 廣之さん
(色見・小倉原)

「根子岳が毎日見れて、高森は良い所だねえ」

「何がよかね？何も感じん」

「この雄大な景色は、他には無いですよ。最高ですよ」

「60年も毎日見ると、何～も感じんばい」

私と親しくしてもらっている友人の会話です。

私は高森に居住して6年、毎日綺麗な空気を吸い、圧倒される緑に囲まれ、見る度に姿を変化させる根子岳に魅了されています。

私は誰も知り合いがないこの地に、会社の健康診断で10年間ひとつの検査にも引っ掛からなかった健康な身体だけを頼りに、静岡から移住し、早6年が過ぎようとしています。冬場は、薪ストーブ用の薪確保のために、覚えてたのチェーンソーと斧で大木と格闘し、そのオフには趣味の事をノンビリ楽しんでいます。

冒頭の友人との会話の様に、私はこの阿蘇地高森にドブプリとはまっています。が、友人は長年見慣れたせいか、この高森の素晴らしさに鈍感になっているようです。

失礼な話、ひょっとして、地元の少なからぬ人が友人と同じ感覚をお持ちとしたら、それは余りにも勿体ない。間違いなく高森は素晴らしい、一級品の地なんです。

この地で、知り合ったクラフト作家さんも「商売も大切だけど、商品が売れなくても、年に1回高森に来てこの景色を見るのが楽しみ。又来年も来ます！」と言う人の声が多く聞かれます。

私はその気持ちがよく分かります。地震で破壊された各所のライフラインも完成も間近とか。観光でも来るもよし、住み着いでくれれば尚よし。そういう人達を惹き付けるだけの魅力がここ高森には有ります。

このコロナ騒動で、都会では変化が起きていると聞きます。「若い人達が田舎暮らしを再評価している」と言う変化です。東京一極集中から田舎暮らしへのフラグが立っています。

知らない人がいない阿蘇、その麓に位置する高森、大いなるチャンス到来と考えているのは私だけでしょうか。芝生が青いのは隣だけではないです。高森も他所に負けず青いです。

前略

毎回、議会だよりを楽しみにしている者の一人です。

町議会期中の様子は、T P Cで放映されますが、視聴する時間がなかなか取れません。その点、紙面は空いた時間に読み進めますし、何度も読み返すことも出来ます。

議員の皆様方には行政へのチェック、協力、提案等々町民に代わりしっかり審議してほしいと願っています。

財政厳しい中、新しい時代への対応、インフラ整備、思いがけない自然災害、ウイルスの脅威諸々決断と実行を迫られる事多々だと思いますが、日頃の勉強を生かして、大いに頑張ってください。

議員の皆様には、多忙な中欠かさず議会だよりを発行くださり感謝しています。

草々



岩下 雅子さん
(高森・昭和)

住民健診をうけましょう

高森町の現状

年間で1人当たりどのくらいの医療費がかかったかを示しています。(表1) 右肩上がりに増えており、平成30年度は大幅に増加しています。平成31年度も平成30年度と同等もしくはそれ以上となる見込みです。

<表1> 1人あたりの医療費

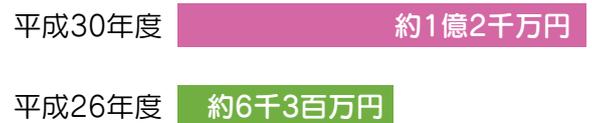
1人あたりの医療費=医療費総額÷被保険者数

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
300,097円	305,941円	288,234円	317,235円	378,591円

本町では、平成27年度以降、5年連続死因の第1位はがんです。がんで亡くなった65歳未満の割合も平成27年度7.6%から平成31年度40.0%と非常に多くなっています。

町の医療費を疾患別に見ても、がんの占める割合が最も高く、平成30年度は1億円を超え、平成26年度の約2倍です。(図1)

<図1> がんにおける医療費



早期発見が重要

がんは以前と違い不治の病ではありません。早期に発見できれば、治癒率も高くなりますが、早期のがんは症状がないことがほとんどです。症状がなくても1年に1回は検査を受けることが大切です。

厚生労働省が掲げるがん検診受診率の目標は50%ですが、本町の受診率はまだまだ低い状況です。(表2)

<表2> 平成31年度高森町がん検診受診率

検診	受診率
胃がん	5.8%
肺がん	20.3%
大腸がん	18.8%
子宮頸がん	10.4%
乳がん	18.2%

疾患の予防をするためには、まず若いうちから自身の健康状態を把握する事が大切です。がん以外の糖尿病や慢性腎不全などの疾患も、普段の生活習慣の改善により発症のリスクを減らせることができます。

早期発見、早期治療につなげるために、住民健診をうけていただくようにお願いします。



検診車による受診状況



ソーシャルディスタンス中の検診状況

編集後記

7月に大雨、人吉・球磨地方で球磨川の氾濫、多数の犠牲者が出ました。阿蘇でも杖立温泉街など多くの災害被害が出ています。



日頃からの防災・避難準備 今一度確認。

牛嶋 津世志

議会広報特別委員会

議長 後藤 三治 (発行責任者)

委員長 牛嶋津世志 委員 津留 智幸

副委員長 後藤 清治 委員 後藤 巖

